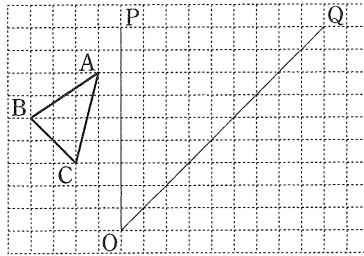


4 平面図形, 空間図形

基本問題

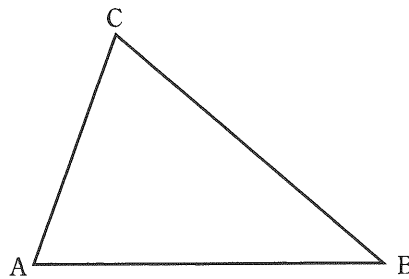
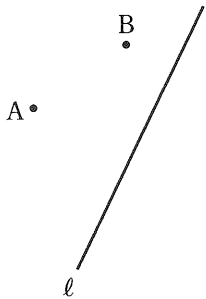
1 [図形の移動] 右の図の $\triangle ABC$ について、次の問いに答えなさい。

- (1) $\triangle ABC$ を直線 OP について対称移動させてできる $\triangle DEF$ をかけ。
- (2) $\triangle DEF$ を直線 OQ について対称移動させてできる $\triangle GHI$ をかけ。
- (3) $\triangle ABC$ を1回の移動で $\triangle GHI$ に重ねるには、どのように移動すればよいか。



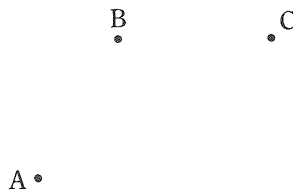
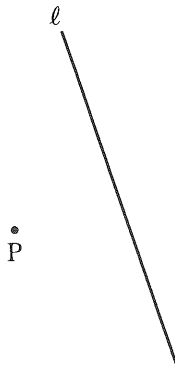
2 [基本の作図] 次の作図をしなさい。

- (1) 直線 ℓ 上に中心があり、2点A, Bを通る円
- (2) $\triangle ABC$ の辺BC上にあり、2辺AB, ACから等しい距離にある点P



3 [作図の利用] 次の作図をしなさい。

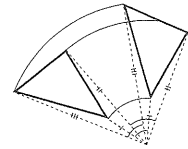
- (1) 点Pと直線 ℓ について対称な点Q
- (2) 3点A, B, Cを通る円O



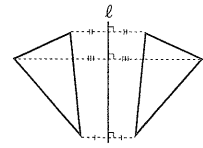
要点チェック

1 図形の移動

- 回転移動

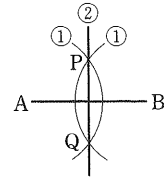


- 対称移動

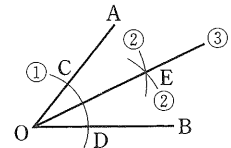


2 基本の作図

- 垂直二等分線

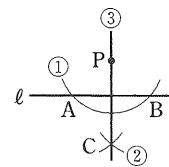


- 角の二等分線



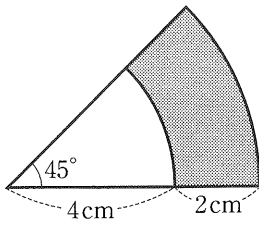
3 基本の作図を組み合わせる。

- 直線 ℓ 外のPを通る垂線

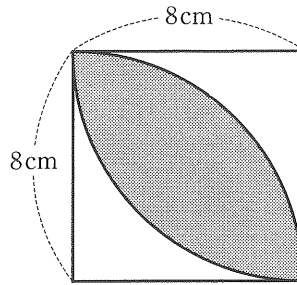


4 [おうぎ形] 次の図で影をつけた部分の周の長さや面積を求めなさい。

(1)



(2)

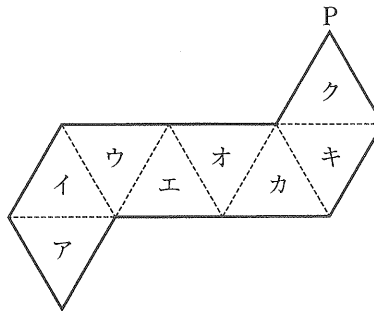


5 [正多面体, 展開図] 右の図は, ある立体の展開図である。この展開図を組み立てるとき, 次の問いに答えなさい。

(1) この立体の名称を答えよ。

(2) Pに集まる面をすべて答えよ。

(3) 頂点の数を求めよ。



4 おうぎ形の半径を r , 弧の長さを l , 面積を S , 中心角を a° とするとき

$$l = 2\pi r \times \frac{a}{360}$$

$$S = \pi r^2 \times \frac{a}{360}$$

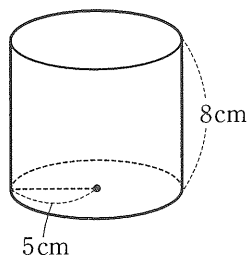
また

$$S = \frac{1}{2}lr$$

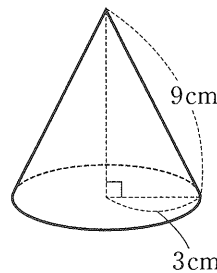
5 正多面体は, 正四面体, 正六面体, 正八面体, 正十二面体, 正二十面体の5種類がある。

6 [円柱・円錐の表面積] 次の立体の表面積を求めなさい。

(1)



(2)



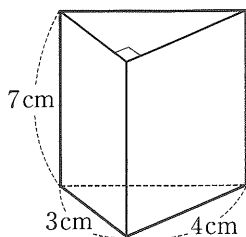
6 側面積を求めるときには, まず, 底面の周の長さを求める。

(1) 側面の展開図は長方形で, 横の長さは底面の周の長さに等しい。

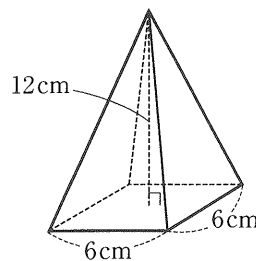
(2) 側面の展開図はおうぎ形で, 弧の長さは底面の周の長さに等しい。

7 [立体の体積] 次の立体の体積を求めなさい。

(1)



(2)



7 体積を V , 底面積を S , 高さを h とする。

● 柱体の体積

$$V = Sh$$

● 錐体の体積

$$V = \frac{1}{3}Sh$$

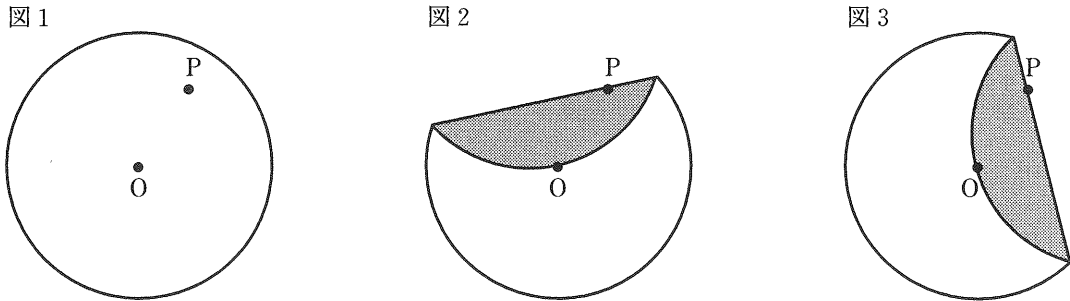
練習問題

8 次の作図をしなさい。

- (1) 2点A, Bからの距離が等しい点の中で, (2) $\angle BAC = 45^\circ$, $\angle BCA = 75^\circ$ である $\triangle ABC$
 点Cからの距離がもっとも短くなる点P (山梨) (三重)

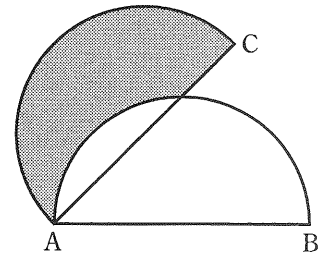


9 図1のように, 点Oを中心とする円があり, 円の内部に点Pがある。円Oを, Pを通る直線を折り目として, 折り返した弧が点Oを通るように折ると, 図2または図3のようになる。図2, 図3における折り目の直線をそれぞれ l, m とすると, l, m のどちらか一方を, 定規とコンパスを使って作図しなさい。(熊本)

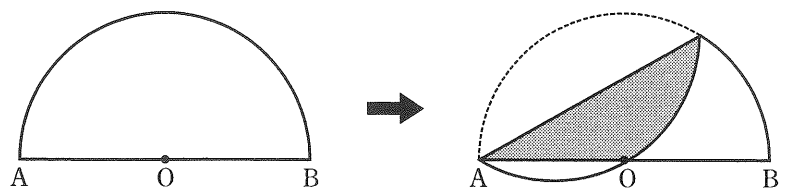


10 次の問いに答えなさい。

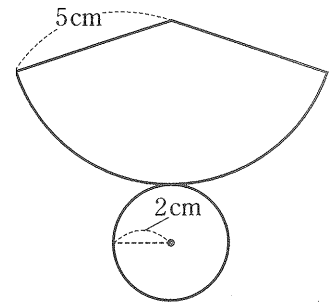
- (1) 右の図のように, AB, ACを直径とする2つの半円があり, $AB = AC = 4\text{ cm}$, $\angle BAC = 45^\circ$ である。このとき, 影をつけた部分の面積を求めよ。(三重)



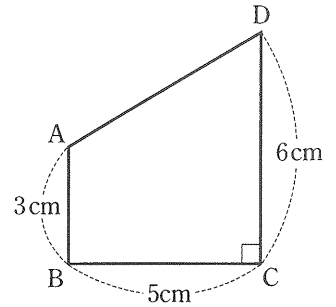
- (2) 中心をOとする半円の紙がある。右の図のように, 点Aを通る弦を折り目として, この半円の弧の部分が中心Oを通るように折り重ねた。直径ABが12cmのとき, 折り重ねてできた影をつけた図形の面積を求めよ。(埼玉)



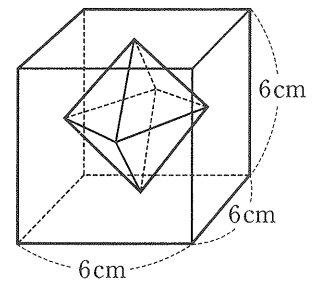
- 11 右の図は、底面の半径が2cm、母線の長さが5cmの円錐の展開図である。おうぎ形の中心角を求めなさい。
 (熊本)



- 12 右の図のように、 $AB \parallel DC$, $\angle BCD = 90^\circ$, $AB = 3\text{cm}$, $BC = 5\text{cm}$, $DC = 6\text{cm}$ である台形ABCDがある。この台形ABCDを、辺DCを軸として1回転させてできる立体の体積を求めなさい。
 (千葉)

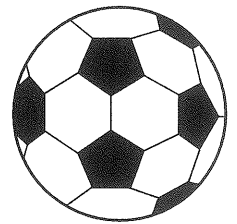


- 13 右の図のように、1辺の長さが6cmの立方体がある。この立方体の各面の対角線の交点を頂点としてつくられる正八面体の体積を求めなさい。
 (岩手)



■ 発展問題 ■

- 14 右の図のサッカーボールは、32個の面からなる多面体を球状にふくらませたものである。その多面体は、12個の正五角形の面と20個の正六角形の面からなり、どの頂点にも1個の正五角形の面と、2個の正六角形の面が集まっている。この多面体の辺は何本か求めなさい。
 (奈良)



- 15 図1のような三角錐ABCDがあり、4つの面の中で、 $\triangle BCD$ の面積が最も大きく、 $\triangle ABC$ の面積が最も小さい。この三角錐の展開図をつくったところ、図2のような正方形になった。このとき、次の問いに答えなさい。

図1

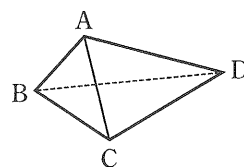
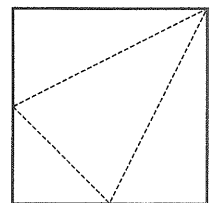


図2



(秋田)

- (1) 辺ABと垂直に交わる辺が2つある。その辺を書け。

- (2) $AD = a\text{cm}$, この三角錐の体積を $V\text{cm}^3$ とするとき、 V を a の式で表せ。

7 資料の整理, 確率

基本問題

1 [資料の整理] 右の表は, あるクラスの女子 20 人の身長を測定して, その結果をまとめた度数分布表である。これについて, 次の問いに答えなさい。

階級(cm)	度数(人)
以上 未満	
140~145	4
145~150	6
150~155	7
155~160	2
160~165	1
計	20

- (1) 140 cm 以上 145 cm 未満の階級の相対度数を求めよ。
- (2) 平均値を求めよ。
- (3) 最頻値を求めよ。

2 [場合の数] A, B, C, D の 4 人がいる。次の問いに答えなさい。

- (1) 4 人が 1 列に並ぶとき, その並び方は何通りか。
- (2) 4 人が 1 列に並ぶとき, A と B がとなり合う並び方は何通りか。
- (3) 4 人から 2 人を選ぶとき, その選び方は何通りか。
- (4) 4 人から A をふくんで 3 人を選ぶとき, その選び方は何通りか。

3 [確率の求め方] 次の確率を求めなさい。

- (1) 1 から 9 までの数字が書いてある 9 枚のカードから 1 枚を取り出すとき, 3 の倍数のカードとなる確率
- (2) ジョーカーを除いた 52 枚のトランプから 1 枚をひくとき, エースをひく確率
- (3) 赤玉 4 個, 白玉 2 個, 青玉 1 個が入った袋がある。この袋から 1 個取り出すとき, 白玉または青玉の出る確率

要点チェック

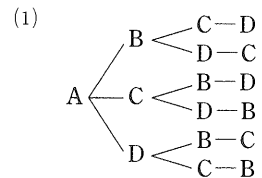
1 資料の整理

- 相対度数

$$= \frac{\text{各階級の度数}}{\text{度数の合計}}$$
- 平均値

$$= \frac{(\text{階級値} \times \text{度数}) \text{の合計}}{\text{度数の合計}}$$
- 中央値
 資料の値を大きさの順に並べたとき, 中央にくる値を中央値という。
- 最頻値
 資料の中で最も多く現れる値を最頻値という。

2 樹形図や, $\{A, B\}$ の形で全部または一部を書く。



- (2) まず A, B を 1 人として 3 人の並び方を考える。
- (3) $\{A, B\}$, $\{A, C\}$, $\{A, D\}$
 $\{B, C\}$, $\{B, D\}$, $\{C, D\}$
- (4) A 以外の 3 人から 2 人を選ぶ。

3 起こりうるすべての場合が n 通り, A の起こる場合が a 通りであるとき, A の起こる確率 p は

$$p = \frac{a}{n}$$

- A が必ず起こるとき
 $p = 1$
- A が決して起こらないとき
 $p = 0$

4 [さいころと確率] A, B 2つのさいころを投げるとき, 次の確率を求めなさい。

(1) 出る目の数の和が7になる確率

(2) 出る目の数の差が2になる確率

(3) 出る目の数の積が12になる確率

5 [硬貨と確率] A, B, Cの3枚の硬貨を投げるとき, 次の確率を求めなさい。

(1) 3枚とも表になる確率

(2) 1枚が表, 2枚が裏になる確率

(3) 2枚以上が表になる確率

(4) A, Bがともに表になる確率

6 [カードと確率] ①, ②, ③, ④, ⑤の5枚のカードがある。次の問いに答えなさい。

(1) 1枚ずつ続けて2回ひき, 1枚目を十の位, 2枚目を一の位とする数をつくる時, その数が奇数になる確率を求めよ。

(2) 同時に2枚取り出すとき, カードの数字の積が奇数になる確率を求めよ。

7 [玉と確率] 赤玉2個, 白玉2個, 青玉1個が入った袋がある。次の問いに答えなさい。

(1) 同時に2個取り出すとき, 赤玉が出ない確率を求めよ。

(2) 1個取り出して色を調べ, それを袋にもどしてから, また玉を1個取り出すとき, 同じ色の玉が出る確率を求めよ。

4 2つのさいころを投げるときは表を書いてみるとわかりやすい。

(1)

		B					
		1	2	3	4	5	6
A	1						○
	2					○	
	3				○		
	4		○				
	5	○					
	6	○					

5 硬貨1枚について, 表と裏の2通りの出方がある。

表裏の出方は

2枚… $2^2 = 4$ (通り)

3枚… $2^3 = 8$ (通り)

4枚… $2^4 = 16$ (通り)

6 (1)の場合は, 並べ方で, 12と21は異なるものとして考える。

(2)の場合は, 選び方で, {1, 2}と{2, 1}は同じものとして考える。

7 同じ色の玉でも区別して考える。

赤玉を①, ②, 白玉を③, ④, 青玉を⑤とする。

(1) すべての場合を

{①, ②}のように表してみる。

(2) すべての場合の数は

$5^2 = 25$ (通り)

練習問題

8 右の表は, ある中学校のサッカー部の男子 25 人の体重を測定して, その結果をまとめたものである。これについて, 次の問いに答えなさい。

階級(kg)	階級値(kg)	度数(人)	階級値×度数
以上 未満			
40~45	42.5	2	85.0
45~50	47.5	⑦	285.0
50~55	52.5	9	472.5
55~60	57.5	①	⑤
60~65	62.5	3	187.5
計		25	⑥

(1) 表の⑦, ①, ⑤, ⑥にあてはまる数を求めよ。

(2) 平均値を求めよ。

(3) この表を作ったあと, 新たに 1 人の男子が入部した。この 1 人を含めた 26 人の平均値は, 52.5 kg となった。新たに入部した人はどの階級に属するか。

9 0, 1, 2, 3 の 4 枚のカードがある。次の問いに答えなさい。 (兵庫)

(1) この 4 枚のカードから 2 枚のカードを取り出して並べるとき, つくることのできる 2 けたの整数は, 全部で何通りあるか。

(2) この 4 枚のカードから 3 枚のカードを取り出して並べるとき, つくることのできる 3 けたの整数のうち, 奇数は全部で何通りあるか。

10 次の問いに答えなさい。

(1) 10 円, 20 円, 30 円, 40 円の切手がそれぞれ 1 枚ずつある。この 4 枚の切手の中から 2 枚取り出してその合計金額を調べるとき, 合計金額が異なる表し方は全部で何通りあるか。 (新潟)

(2) 上皿てんびんが 1 台と分銅(ふんどう)が 6 個ある。分銅は, 1g のものが 2 個, 2g のものが 2 個, 5g のものが 1 個, 10g のものが 1 個である。この上皿てんびんの一方の皿に物体 A をのせ, もう一方の皿に 3 個の分銅をのせたとき, ちょうどつりあった。物体 A の重さは何 g か。考えられる重さをすべて答えよ。ただし, 物体 A は, 5g より重く 13g より軽いものとする。 (千葉)

11 1 枚の硬貨を 3 回投げ, 表が出たら, 1 回目は 1 点, 2 回目は 2 点, 3 回目は 3 点を与える。いずれの回も, 裏が出たときは 0 点とする。このとき, 点数の合計が 3 点以上となる確率を求めなさい。(青森)

- 12** Aの箱には, 1, 2, 3, 4, 5, 6の数字を1つずつ書いた6枚のカードが入っている。Bの箱には, 1, 2, 3, 4の数字を1つずつ書いた4枚のカードが入っている。A, Bそれぞれの箱からカードを1枚ずつ取り出すとき, Aの箱から取り出したカードの数字がBの箱から取り出したカードの数字より大きくなる確率を求めなさい。 (福井)

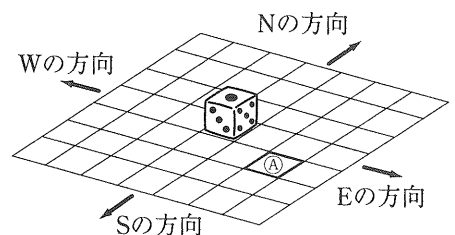
- 13** 次の問いに答えなさい。

- (1) 赤玉と白玉の2種類の玉を袋に入れ, 玉を1個取り出すとき, 赤玉の出る確率を $\frac{1}{5}$ としたい。この袋に白玉を120個入れるとき, 赤玉は何個入れればよいか。その赤玉の個数を求めよ。 (埼玉)
- (2) 袋の中に玉が a 個入っている。その中の4個は白玉で, 残りは赤玉である。この袋の中から玉を1個取り出すとき, 赤玉の出る確率は $\frac{3}{5}$ である。 a の値を求めよ。 (北海道)

■ 発展問題 ■

- 14** 2つのさいころを同時に投げるとき, 出る目の数の積が出る目の数の和の2倍より大きくなる確率を求めなさい。 (愛知)

- 15** 右の図のように, さいころを方眼紙の中央に置き, $\boxed{N|S|E|W}$ の4枚のカードを使って, 下の操作①, ②を繰り返しながら, さいころを移動させた。次の問いに答えなさい。ただし, さいころの向かい合う面の目の数の和は7とする。 (滋賀)



【操作】

- ① 4枚のカードをよくきって, その中から1枚を取り出す。
 ② 取り出したカードが示す方向にさいころを倒して隣のマス目に移す。

- (1) 操作①, ②を2回繰り返したとき, さいころが, もとの中央の位置へもどる確率を求めよ。
- (2) 操作①, ②を3回繰り返したとき, さいころがAのマス目に移動したとする。このとき, さいころの上の目の数は何になるか。考えられる目の数をすべて書け。

解答

<S数学3A>

1 数と式の計算

p.2~3

●基本問題

- 1 (1) -4 (2) -15 (3) -3
(4) 81 (5) -1 (6) 45
- 2 (1) $4x+2y$ (2) $5a-4b$
(3) $2a-b$ (4) $15x-8y$
(5) $-3a-2b+9$ (6) $4x^2+2x-1$
- 3 (1) $11x+8$ (2) $8x-7y$
(3) $-9a-6b$ (4) a
(5) $4x$ (6) $\frac{3a-7b}{4}$
(7) $\frac{x-3y}{2}$ (8) $\frac{4a+11b}{6}$
- 4 (1) $21xy$ (2) $-24x^5$ (3) $-7y$
(4) $-3ab$ (5) $24a^2$ (6) $-\frac{2}{5}x$
(7) $-18x^4$ (8) $2b$
- 5 (1) 3 (2) 15 (3) -4
- 6 (1) $y=-2x+3$ (2) $b=\frac{m-a}{2}$
(3) $r=\frac{S}{A}-1$ (4) $a=\frac{5x-b}{3}$

解説

- 1 (6) 与式 $=9-4\times(-9)=9+36=45$
- 3 (5) 分配法則によりかっこをはずす。
(6) 与式 $=\frac{2(a-3b)+a-b}{4}$
- 4 (8) 与式 $=\frac{2}{3}ab^2\times\left(-\frac{6}{a}\right)\times\left(-\frac{1}{2b}\right)$

p.4~5

●練習問題

- 7 (1) 5 (2) -5 (3) 3 (4) 4
- 8 (1) 13 (2) $\frac{5}{12}x-\frac{7}{12}$
(3) $\frac{a}{6}$ (4) $-27x^4y^2$
- 9 (1) $b=\frac{a}{50}$ (2) $0.8ab$ 円
(3) $3b^2$ (4) $a=\frac{S}{3}-7$

10 (1) $a-b$ (2) -4

11 A の十の位の数を x 、一の位の数を y とすると、 $A=10x+y$ と表される。

$$B=10y+x \text{ だから,}$$

$$A+B=(10x+y)+(10y+x)$$

$$=11x+11y=11(x+y)$$

$x+y$ は整数だから、 $11(x+y)$ は11の倍数である。よって、 $A+B$ は11の倍数である。

12 (1) 24個 (2) $3n+9$ (個)

13 9月のごみの量を x kgとすると、

10月のごみの量は、

$$x\times(1-0.2)=0.8x \text{ (kg)}$$

11月のごみの量は、

$$0.8x\times(1-0.2)=0.64x \text{ (kg)}$$

これは9月のごみの量 x kgの64%である。

よって、「11月のごみの量は、9月のごみの量より40%減少した。」という考えは正しくない。

解説

9 (1) 毎時3km=毎分50m

(2) 2割引きで、 $(1-0.2)a=0.8a$ (円)

(3) $a=3b$ から、 $a^2=(3b)^2=3\times 3b^2$

(4) $S=3(a+7)$ を a について解く。

10 (1) $ab<0$, $\frac{a}{b}<0$, $a-b>0$

$$a+b<a-b$$

(2) 3つの数の和は0である。

$$d=4 \text{ より, } c=-4$$

12 (1) 黒い基石と白い基石の個数は、それぞれ、

1番目のとき、黒……3個、白……12個、

2番目のとき、黒……6個、白……15個、

3番目のとき、黒……9個、白……18個

白い基石は、どの場合でも、黒い基石より9個多いので、求める白い基石の個数は、

$$15+9=24 \text{ (個)}$$

(2) 白い基石は、

1番目のとき、 3×4 (個)、

2番目のとき、 3×5 (個)、

3番目のとき、 3×6 (個)だから、 n 番目のときは、 $3\times(n+3)=3n+9$ (個)